

第1章

経済とお金の流れ



～お金はどのように流れているのだろうか？～

「経済」って何だ？

私たちが生活に必要なものはどうしていますか。着る物、食べる物、遊ぶ物などほとんどの物はお店で買っているのではないのでしょうか。では、その時お店で買った物はどこからきたのでしょうか。多分だれかが作ったものをそのお店で売っていたのでしょうか。このように使うことや使うために買うことを**消費**（しょうひ）といいます。また、お店などで売するために作ることを**生産**（せいさん）といいます。この**消費**と**生産**、それに加えてそのことを支えるしくみを**経済**といいます。

1 経済の
基本的な
しくみ

2 資金の
流れ



消費するために生産されるものを**商品**といいます。商品**はもの**だけではなく**サービス**というかたちには残らないものもそうです。例えば、電車に乗ったり、塾で勉強を教えてもらったり、理髪店で髪を切ってもらったりなどがサービスになります。そして、商品を買う時に商品と引き替えに渡すのが**お金**（貨幣/かへい）です。お店に払われたお金の一部は作った人へと流れていくのです。また、私たちが商品を買う時に払ったお金は、普通各家庭でお小遣いとしてもらったものでしょう。このお金は家の人が働いたことなどにより得た収入の一部です。つまり会社などから流れてきたのです。

「お年玉はどうしてる？」

先生 「今年のお年玉はどうしましたか？」

Aくん 「好きなアーティストのCDとゲームソフトを買いました。」

Bさん 「私は欲しい洋服を買って、残りは銀行に預金したわ。」

Cくん 「僕はパソコンが欲しいからひとまず郵便局に貯金したんだ。」

Dさん 「私は当分使うつもりがないので、全部銀行で定期預金にしたわ。」

お年玉をすぐに使ってしまった人もいると思いますが、全部または一部を銀行や郵便局に預金（よきん）（貯金/ちよきん）した人が多いようです。銀行などに預金すると家の貯金箱に入れておくよりは安全で、しかも少し利子（りし）が付くので得をします。では、銀行に預けたお金はどうなるのでしょうか。銀行の金庫に入ったままなのでしょうか。そうではありません。銀行は多くの人から預かったお金を他のところ（人）に貸しているのです。特に会社などの企業に貸していることが多いのです。そして貸したところからは利子を付けて返してもらうのです。その時の利子は私たちがもらう利子より高いのです。つまり銀行は貸したことによって得る利子から、預金に付ける利子を差し引いて残ったお金が儲（もう）けになるわけです。私たちが銀行に預けたお金は会社などに貸し出され、有効に使われているのです。もちろんこれも経済活動の1つです。



貯蓄の目的

家計からみれば貯蓄の目的は3つあります。

- ① 生活に必要なやや高額なものを購入するために貯める。
- ② 高額なものの購入やレジャーのために計画的に貯める。
- ③ 病気などの不時の支払い、教育費などのため、また、老後の生活の準備のために長期間貯める。